

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の添付がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はおお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様のご負担となります。
- 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト コーン式全自動コーヒーマーカー 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様 ご住所 〒	—		販売店 住所・店名			
お名前		様				
電話 ()	—		電話 ()	—		

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時～12時／13時～16時(土日祝日を除く)
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

BA-RCD1-05-2307

récolte®

Grind & Brew Coffee Maker

レコルト

コーン式全自動コーヒーマーカー

RCD-1



取扱説明書

この度はレコルト コーン式全自動コーヒーマーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

This product is for use inside Japan only.
Do not use outside Japan.

INDEX

安全上のご注意	1-4
各部(パーツ)の名称	5-6
はじめてお使いになる前に	7-8
コーヒーをいれる準備	9
コーヒー豆からコーヒーをいれる	10-11
コーヒー粉からコーヒーをいれる	11
タイマー(予約)を使ってコーヒーをいれる	12
お手入れのしかた	13-16
故障かな?と思ったら	17
仕様	18
無料修理規定／保証書	裏表紙

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。		
	この表示は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。	禁止
	この表示は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。	指示
	この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。	注意

警告

 **改造はしない。また、分解したり修理をしない。**
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。
分解禁止

 **電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。（日本国内専用）**
故障・発熱・火災・感電の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。
発煙・発火・感電・けがの原因になります。
〈異常・故障例〉
・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
・電源を入れているのに動かない
・電源コードに傷がついたり、通電したりしなかったりする
・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
・こげ臭い・発煙している
すぐにカスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

電源プラグをなめない。
乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。
火災・感電、けがの原因となります。

 **電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**
感電・ショート・発火することがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

 **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。**
感電・けがをすることがあります。
ぬれ手禁止

 **本体を水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また湿気が多い場所、水が掛かる場所、水場で使用しない。**
感電・ショート・故障のおそれがあります。
水ぬれ禁止

 **電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
禁止

電源プラグにピン等の金属片やゴミを付着させない。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取る。
火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。

ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。
感電・ショートの原因になります。

子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない、保管しない。
やけど・感電・けがをすることがあります。

長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。
火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。
・電源コードがねじれて戻らなくなった
・電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
・コンセントの差し込みがゆるい

この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。
けが・事故の原因になります。

専用のガラスポット・フィルターホルダー・ウォータータンク・各ふたは用途以外で使用しない。
やけど・けが・故障の原因になります。

注意

 **本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜いてから行う。**
感電・やけどの原因になります。
電源プラグを抜く

 **水気を残したまま放置しない。**
内部タンク内の水が腐敗するおそれがあります。
禁止

動作していない事を確認してから電源プラグを抜く。
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

本体を移動するときは、電源プラグを抜いて本体を持って移動する。
転倒・破損・故障の原因になります。

続けて使用する場合は、5分以上やすませる。
本体が熱いうちにウォータータンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出してやけどの原因になります。フィルターホルダーは使用のたびに洗浄し、乾いた布で水分を拭き取り十分に乾燥させてください。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形・火災の原因となります。キッチン用収納などで使うときは、中に蒸気がこもらないように注意してください。

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない。
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

不安定な場所や敷物等の転倒の可能性がある場所で使用しない。
やけど・転倒・破損・故障の原因になります。



禁止

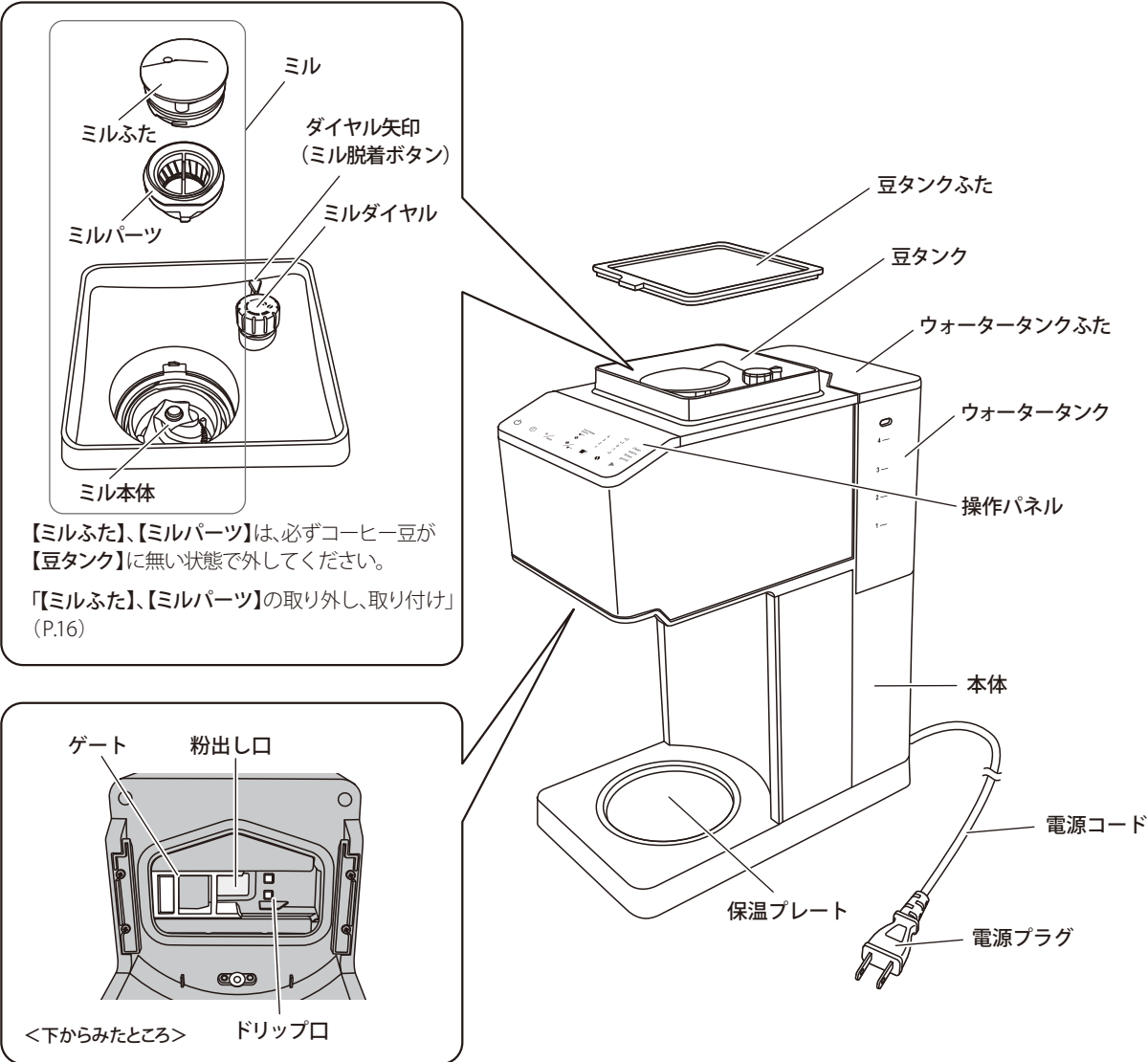
- ◆**本体にふきんなどをかぶせた状態で使用しない。**
故障の原因になります。
- ◆**平らな場所に設置する。カーペット・座布団など不安定な場所に設置しない。**
やけど・けが・転倒・故障の原因になります。
- ◆**物を載せない。落下しやすい場所に設置しない。**
発熱・発火・感電・けがの原因になります。
- ◆**使用中にお子様やペットを側に近づけない。**
やけど・けが・転倒・故障の原因になります。
- ◆**室内で使用する。直射日光・雨が当たる場所に置かない、使用しない。**
漏電・故障の原因になります。
- ◆**屋外で使用しない。**
故障の原因になります。
- ◆**ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使わない。**
発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。
- ◆**IHクッキングヒーターの上では使わない。**
故障の原因になります。
- ◆**本体にガラスポット・フィルターホルダー・ウォータータンクを確実にセットする。**
使用中に触れたり外したりしない。
やけどの原因になります。
- ◆**使用中・使用直後のドリップ口や保温プレートに触ったり、手や顔を近づけない。**
やけどをするおそれがあります。
- ◆**使用中・使用直後は高温部に電源コードが触れないようにする。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ◆**使用中・使用直後に本体の移動・持ち運びはしない。**
やけどの原因になります。
- ◆**使用直後にペーパーフィルターを直接触らない。**
やけどの原因になります。
- ◆**倒したり落としたり、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。**
故障の原因になります。
- ◆**ガラスポットを載せたまま本体を動かさない。**
やけど・破損・けがの原因になります。
- ◆**ガラスポットが空の状態のまま保温しない。**
ガラスポットが破損しやすくなります。万が一割れた場合は、破片を取り除くときにけがをしないように十分に注意してください。
- ◆**ガラスポットを直火にかけたり、電子レンジで使ったりしない。**
ガラスが割れたり、取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。
- ◆**ガラスポットを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。**
ガラスが破損して、けがの原因になります。
- ◆**キズやひび割れが発生したガラスポットは使用しない。**
やけど・けがの原因となります。
- ◆**ウォータータンクが空の状態で抽出(ドリップ)動作しない。**
故障の原因になります。
- ◆**使用中・使用直後、すぐにウォータータンクに水を入れない。**
やけどの原因になります。
- ◆**ウォータータンクに水を入れたまま長期間放置しない。**
においの発生、変形や故障の原因になります。



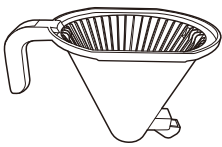
禁止

- ◆**ウォータータンクに水以外(湯・牛乳・アルカリイオン水など)のものを入れない。**
ふきこぼれ・感電・故障・汚れ・焦げつきの原因になります。
- ◆**ウォータータンクに満水目盛(4カップ目盛)以上の水を入れない。**
湯がこぼれて、やけどの恐れがあります。
- ◆**ミネラルウォーターを使用した場合は、お手入れをこまめにする。**
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分が剥がれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。
- ◆**豆タンクにコーヒー豆以外のものは入れない。**
故障の原因になります。
- ◆**お手入れは本体が冷めてから行う。**
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。
- ◆**ミルのお手入れは、付属のクリーニングブラシを使用する。**
けがの原因になります。
- ◆**本製品は家庭用なので、業務用として使わない。**
故障の原因になります。

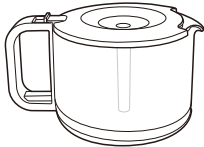
各部（パーツ）の名称



上の図は【ゲート】が左に動いた(【粉出し口】が開いた)状態です。

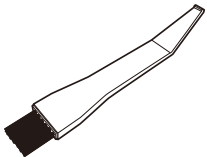


フィルターホルダー



ガラスポット(カラフェ)

付属品



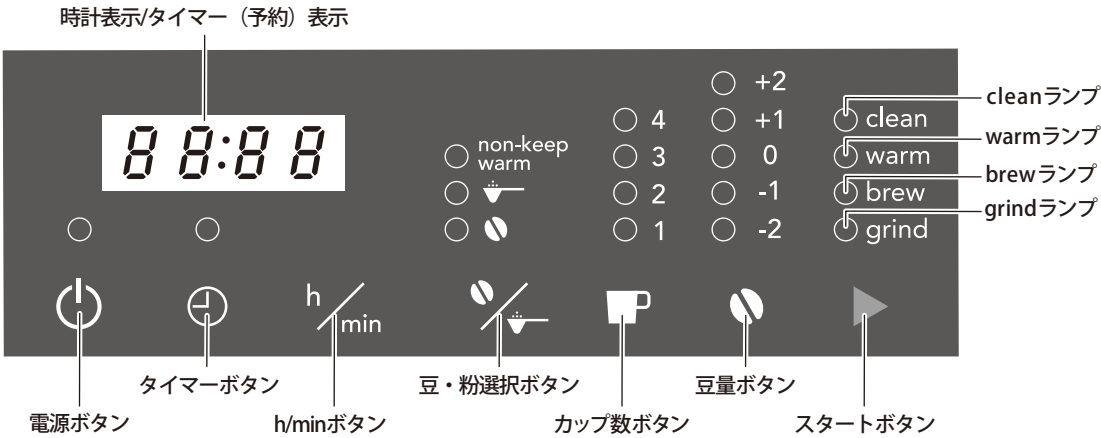
クリーニングブラシ

※ペーパーフィルターは別売です。市販のペーパーフィルター「2〜4 カップ」用(サイズ：「1×2」または「102」)をご使用ください。

【ミル】について

本製品は、すべて工場出荷時にコーヒー豆を使った検査をして性能を確認しています。コーヒー粉が【ミル】や【ミル】付近に付着していたり、コーヒーのにおいが残っていることがございますが、人体への影響はありませんので安心してご使用ください。

●操作パネル・表示部



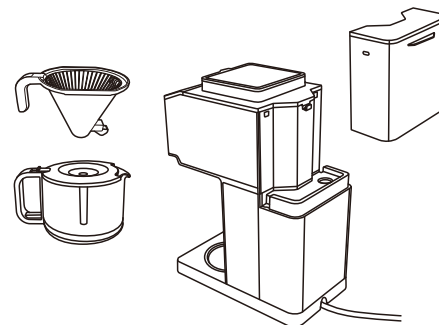
電源ボタン	電源のオン(起動状態)/オフ(待機状態)を切り替えます。動作中に押すと、動作を中止し電源オン(起動状態)に戻ります。
タイマーボタン	「時計表示」、「タイマー表示」を切り替えます。 「時」、または「分」の表示が点滅している時に、このボタンを押すと「時」、「分」が設定されます。
h/minボタン	「時計表示」のときに、このボタンを長押しすると、「時」、「分」の表示が点滅に変わり、時計を合わせることができます。ボタンを押すごとに数字が変わります。長押しすると早送りで数字が変わります。 「タイマー表示」のときに、このボタンを押すと、「時」、「分」の表示が点滅に変わり、時計を合わせることができます。長押しすると早送りで数字が変わります。
豆・粉選択ボタン	「豆モード」、「粉モード」、またドリップ後の保温の有り/無しを切り替えます。 ○ non-keep warm ○ 豆 ● 豆モード 保温有り ○ non-keep warm ○ 豆 ○ 豆モード 保温無し ○ non-keep warm ○ 粉 ● 粉モード 保温有り ○ non-keep warm ○ 粉 ○ 粉モード 保温無し
カップ数ボタン	ボタンを押すごとに、カップ数(1杯〜4杯)が切り替わります。
豆量ボタン	ボタンを押すごとに、豆を挽く量を選ぶことができます。 ○ +2 20%増量 ○ +1 10%増量 ● 0 増減なし ○ -1 10%減量 ○ -2 20%減量
スタートボタン	ボタンを押すとコーヒーのドリップ(抽出)を開始します。 電源がオフ(待機状態)のとき、3秒長押しすると「cleanモード」を開始します。 すでに【豆タンク】にコーヒー豆が入っている状態で、豆の種類を変えたいときなど、「cleanモード」を使用して、【ミル】内部に残った古いコーヒー豆、コーヒー粉を取り除くことができます。
時計表示/タイマー(予約)表示	現在時刻またはタイマー(予約)を表示します。「grind(豆挽き)」中、蒸らし工程中は「」を表示します。「cleanモード」時【ゲート】が【粉出し口】を開いた状態になると「OPEN」を表示します。 動作に不具合があるときはエラーを表示します。
cleanランプ	「clean モード」中、又はお手入れサインが出たときに点滅します。
warmランプ	「warm(保温)」中に点滅します。
brewランプ	「brew(コーヒー抽出)」中に点滅します。
grindランプ	「grind(豆挽き)」中に点滅します。

はじめてお使いになる前に

はじめてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、【本体】の内部を洗浄してください。【本体】内部の洗浄が終了しましたら、時計を設定してお使いください。

【本体】の内部を洗浄する

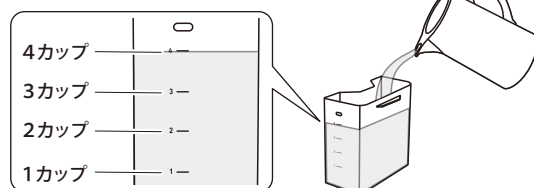
- 1 【ウォータータンク】、【フィルターホルダー】、【ガラスポット】は【本体】から取り外し、やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用して洗う



- 2 洗ったパーツは水気を十分にきり、【フィルターホルダー】(ペーパーフィルターは入れない)、【ガラスポット】を【本体】にセットする

※内部の洗浄には水のみを使います。コーヒー豆、コーヒー粉は入れないでください。

- 3 【ウォータータンク】の4カップの目盛まで水を入れ、【ウォータータンクふた】でふたをする

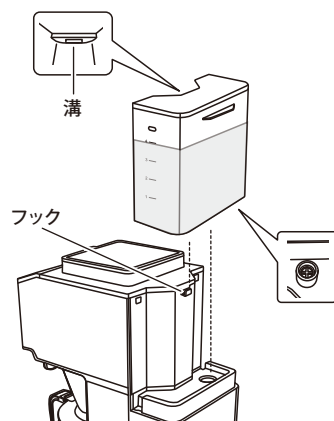


- 4 【ウォータータンク】を【本体】にセットする

【ウォータータンク】の溝が【本体】のフックに合うようにセットしてください。

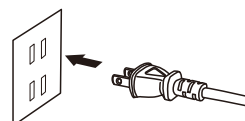
⚠ 注意

【ウォータータンク】が【本体】に対して、ずれていないか必ず確認してください。



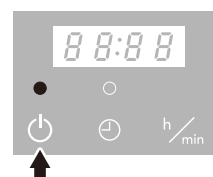
- 5 【電源プラグ】を電源コンセントに差し込む

【操作パネル】が一度全点灯し、電源ボタンのランプが点滅し、電源オフ(待機状態)になります。

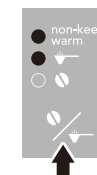


- 6 電源ボタンを押す

電源がオン(起動状態)になり、電源ボタンのランプが点灯に変わります。



- 7 豆・粉選択ボタンを押して、「粉モード・保温無し」を選ぶ



- 8 スタートボタンを押して、水だけで抽出する

「時計表示」が「」表示」に変わり、「brewランプ」が点滅します。しばらくすると、お湯が少しずつ【ガラスポット】に溜まります。終了するとアラームが5回鳴り、「brewランプ」が消灯し「時計表示」に戻ります。



- 9 【ガラスポット】に溜まったお湯を捨てる

【ガラスポット】をゆっくり引き出し、溜まったお湯を捨てます。



- 10 手順3～9を1～2回繰り返す

【本体】内部の洗浄が終了しましたら、「時計(現在時刻)」を設定してください。

使いはじめにプラスチック特有のにおいがする場合は

使いはじめのうちは、【本体】のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがする場合があります。お使いになるうちに、においは少なくなります。気になる場合は1～2回【本体】の内部洗浄(水だけで抽出)を繰り返してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄(P.13)を行ってください。

時計(現在時刻)を設定する

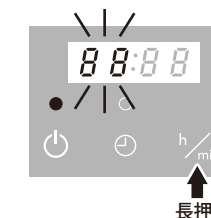
※現在時刻、タイマー時刻は24時間表示です。

※時計を設定しないと「タイマー(予約)を使ってコーヒーをいれる」(P.12)は使用できません。

※時計を設定しなくても、コーヒーのドリップ(抽出)をお楽しみいただけます。

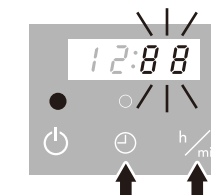
- 1 h/min ボタンを長押しする

h/minボタンを長押しすると、「時計表示」の「時」が点滅し、「時」を合わせることができます。



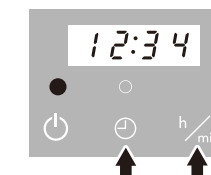
- 2 h/min ボタンを押して「時」を合わせ、タイマーボタンを押して「時」を決定する

時計の「時」を決定すると、「時計表示」の「分」が点滅し、「分」を合わせることができます。



- 3 h/min ボタンを押して「分」を合わせ、タイマーボタンを押して「分」を決定し、現在時刻を設定する

「分」の表示の点滅が点灯に変わり、時計(現在時刻)が設定されます。



⚠ 注意

【電源プラグ】を抜くと時計はリセットされます。再度時計を設定してください。

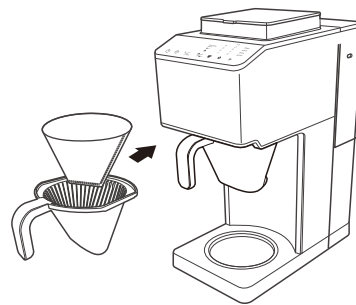
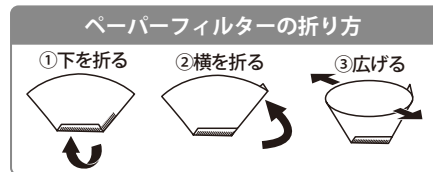
コーヒーをいれる準備

※「時計（現在時刻）を設定する」(P.8)を行わなくても、コーヒーのドリップ（抽出）をお楽しみいただけます。

1 【フィルターホルダー】にペーパーフィルター（別売）を入れ、【本体】にセットする

図のように、ペーパーフィルターを折って、【フィルターホルダー】を本体にセットします。

※ペーパーフィルターは別売です。市販のペーパーフィルター「2～4 カップ」用（サイズ：「1×2」または「102」）をご使用ください。



2 【ガラスポット】を【保温プレート】にセットする

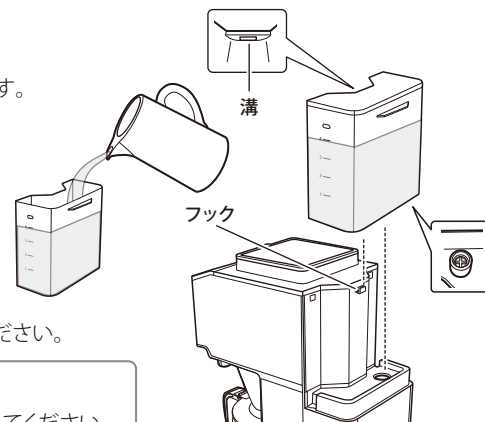
【保温プレート】のくぼみに【ガラスポット】がずれないようセットします。

3 【ウォータータンク】を取り外し飲みたいカップ数分の水を入れ、【ウォータータンクふた】でふたをする

【ウォータータンク】の目盛に合わせて水を入れます。

4 【ウォータータンク】を【本体】にセットする

【ウォータータンク】の溝が【本体】のフックに合うようにセットしてください。



⚠ 注意

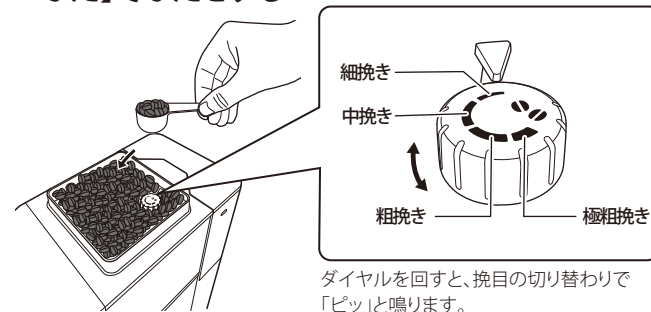
【ウォータータンク】が【本体】に対して、ずれていないか必ず確認してください。

5 【電源プラグ】を電源コンセントに差し込む

【操作パネル】が一度全点灯し、電源ボタンのランプが点滅し、電源オフ（待機状態）になります。

コーヒー豆からコーヒーをいれる場合

6 【豆タンク】にコーヒー豆を入れ、【ミルダイヤル】をお好みの豆の挽き具合に調節し、【豆タンクふた】でふたをする



ダイヤルを回すと、挽目の切り替わりで「ピッ」と鳴ります。

⚠ 注意

- コーヒー豆を入れすぎないでください。最大量は約60g（深煎り豆の場合）。
- 湿ったコーヒー豆を入れない。
- コーヒー豆以外のものを入れない。

「コーヒー豆からコーヒーをいれる」(P.10)へ

コーヒー粉からコーヒーをいれる場合

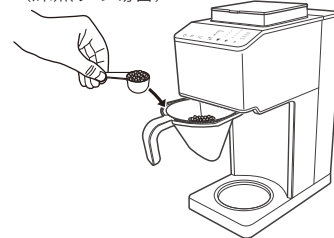
6 ペーパーフィルターに飲みたい分のコーヒー粉を入れる

【フィルターホルダー】を手前に引き、飲みたい分のコーヒー粉をペーパーフィルターに入れてから、元に戻します。

コーヒー粉の重さの目安

1 カップ: 約 8g	2 カップ: 約 16g
3 カップ: 約 25g	4 カップ: 約 30g

（深煎りの場合）



⚠ 注意

- 必ずペーパーフィルターを【フィルターホルダー】にセットしてください。

「コーヒー粉からコーヒーをいれる」(P.11)へ

コーヒー豆からコーヒーをいれる

1 電源ボタンを押す

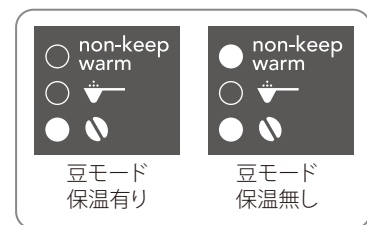
電源がオン（起動状態）になり、電源ボタンのランプが点灯します。



2 豆・粉選択ボタンを押して、「豆モード」を選ぶ

「豆モード・保温有り」、または「豆モード・保温無し」を選びます。

- ・「豆モード・保温無し」を選んだときは、ドリップ（抽出）終了後、保温機能は働きません。
- ・「豆モード・保温有り」を選んだときは、ドリップ（抽出）終了後、約20分間保温機能が働きます。



3 カップ数ボタンを押して、でき上がりのカップ数（1杯～4杯）を選ぶ

4 豆量ボタンを押して挽く豆の量をお好みに合わせて調節する

【豆量ボタン】・【ミルダイヤル】の調節目安

豆の煎り方や飲み方に合わせた、「豆量調節【豆量ボタン】」と「豆の挽き目（粒度）【ミルダイヤル】」の目安です。お好みの味わいや濃さに調節してお楽しみください。

		細挽き	中挽き	粗挽き	極粗挽き
豆量ボタン	20%増量	○ +2	どっしり		
	10%増量	○ +1			
	増減なし	● 0			
	10%減量	○ -1			
	20%減量	○ -2			スッキリ

※豆の焙煎（煎り方）の度合によって、挽かれる粉の量が異なります。お好みで調節ください。

5 スタートボタンを押してグラインド～ドリップ（抽出）を開始する

「時計表示」が「[]」表示に変わり、「grindランプ」が点滅します。

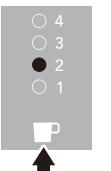
【ゲート】が【粉出し口】側に開き、コーヒー豆を挽きます。コーヒー豆を挽いた後は「brew ランプ」が点滅し、「蒸らし」工程（約20 秒間）の後、ドリップ（抽出）を開始します。

⚠ 注意

【本体】に【ガラスポット】【フィルターホルダー】【ウォータータンク】が確実にセットされていることを確認してください。使用中に触れたり外さないでください。やけどの原因になります。

⚠ 注意

コーヒー豆を挽いているとき、バリバリと音がしますが、異常ではありません。【ウォータータンク】に水が入っていない状態（空焚き）で開始すると、抽出を停止します。「保温有り」を選んでいると、保温が始まります。保温を解除する場合は、電源ボタンを押してください。



6 ドリップ(抽出)が終了すると、アラームが鳴る

ドリップ(抽出)が終了すると、アラームが5回鳴り、「時計表示」に戻ります。
「保温有り」を選んだ場合は自動的に保温が始まり、「warm ランプ」が点滅し「表示部」に「20」(20分)と表示され、カウントダウンが始まります。保温を途中で止めたいときは、**電源ボタン**を押すと解除します。
【ガラスポット】をゆっくり引き出し、コーヒーをカップに注いでお楽しみください。
約30回ミルを使用したら、抽出後又は保温完了後に時計表示にお手入れサイン「CLN」が点滅で表示されます。
p.14、15に沿ってお手入れしてください。

7 ドリップし終えたコーヒーの粉をペーパーフィルターごと捨て、【ガラスポット】、【フィルターホルダー】、【ウォータータンク】を洗う

【ガラスポット】、【フィルターホルダー】、【ウォータータンク】を【本体】から外し、水洗いします。

⚠ 注意

- ◆ ペーパーフィルターは十分に冷ましてから捨てる。
【ガラスポット】を【本体】から取り出したときは、【保温プレート】にさわらない。
やけどの原因になります。
- ◆ 【ガラスポット】を直接火にかけたり、電子レンジで加熱をしない。
破損・けがの原因になります。

コーヒー粉からコーヒーをいれる

1 電源ボタンを押す

電源がオン(起動状態)になり、電源ボタンのランプが点灯します。

2 豆・粉選択ボタンを押して、「粉モード」を選ぶ

「粉モード・保温有り」、または「粉モード・保温無し」を選びます。

- ・「粉モード・保温無し」を選んだときは、ドリップ(抽出)終了後、保温機能は働きません。
- ・「粉モード・保温有り」を選んだときは、ドリップ(抽出)終了後、約20分間保温機能が働きます。

3 スタートボタンを押して、ドリップ(抽出)を開始する

「時計表示」が「」表示に変わり「brew ランプ」が点滅します。
「蒸らし」工程(約20秒間)の後、ドリップ(抽出)を開始します。

4 ドリップ(抽出)が終了すると、アラームが鳴る

ドリップ(抽出)が終了すると、アラームが5回鳴り、「時計表示」に戻ります。
「保温有り」を選んだ場合は自動的に保温が始まり、「warm ランプ」が点滅し「表示部」に「20」(20分)と表示され、カウントダウンが始まります。保温を途中で止めたいときは、**電源ボタン**を押すと解除します。
【ガラスポット】をゆっくり引き出し、コーヒーをカップに注いでください。

5 ドリップし終えたコーヒーの粉をペーパーフィルターごと捨て、【ガラスポット】、【フィルターホルダー】、【ウォータータンク】を洗う

【ガラスポット】、【フィルターホルダー】、【ウォータータンク】を【本体】から外し、水洗いします。

⚠ 注意

- ◆ ペーパーフィルターは十分に冷ましてから捨てる。
【ガラスポット】を【本体】から取り出したときは、【保温プレート】にさわらない。
やけどの原因になります。
- ◆ 【ガラスポット】を直接火にかけたり、電子レンジで加熱をしない。
破損・けがの原因になります。

タイマー(予約)を使ってコーヒーをいれる

※「時計(現在時刻)」を設定する(P.8)を行わないと、タイマー(予約)を設定できません。

⚠ 注意

【電源プラグ】を電源コンセントから抜くと、時計(現在時刻)はリセットされます。再度時計を設定してください。

1 「コーヒーをいれる準備」(P.9)の手順で準備する

2 コーヒー豆の場合

「コーヒー豆からコーヒーをいれる」(P.10)の手順 **1** ~ **4** まで行う

コーヒー粉の場合

「コーヒー粉からコーヒーをいれる」(P.11)の手順 **1** ~ **2** まで行う

3 タイマーボタンを押して、「タイマー表示」にする

タイマーボタンのランプが点灯し、「タイマー表示」の「:」が点滅から点灯に変わります。

4 h/min ボタンを押して「時」を合わせ、タイマーボタンを押して「時」を決定する

「タイマー表示」の「時」が点滅し、h/min ボタンを押すごとに「時」の表示が変わります。
ボタンを長押しすると早送りできます。タイマーボタンで「時」を決定すると、「タイマー表示」の「分」が点滅に変わります。

5 h/min ボタンを押して「分」を合わせ、タイマーボタンを押して「分」を決定し、予約時刻を設定する

h/min ボタンを押すごとに「分」の表示が変わります。ボタンを長押しすると早送りできます。
タイマーボタンで「分」を決定すると、「分」が点灯に変わり予約時刻が設定されます。

6 スタートボタンを押して、タイマー(予約)を設定する

予約中は「タイマー表示」の「:」が点滅し、タイマーボタンのランプが点滅します。

7 予約時刻になると自動でドリップ(抽出)を開始する

一度タイマー(予約)を設定すると、次回タイマーボタンを押したとき、前回設定した予約時刻が表示されます。同じ時刻にタイマー(予約)を設定したいときに便利です。

● 中止したいとき

電源ボタンを押してください。

お手入れのしかた

お手入れは必ず【本体】が十分に冷めてから行ってください。【ミル】内部【ゲート】付近のお手入れ「clean モード」(p.14、15)以外のお手入れは、【電源プラグ】を電源コンセントから抜いた状態で行ってください。

⚠ 注意

- ◆お手入れは、必ず電源を切って【本体】が冷めた後(約30分後)に行う。
感電・やけど・けがの原因になります。
- ◆研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわし・シンナー・ベンジンを使わない。
表面を傷つける原因になります。
- 【電源プラグ】を電源コンセントから抜くと、時計(現在時刻)はリセットされます。再度時計を設定してください。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しないでください。

【本体】外観のお手入れ

- 1 やわらかい布に水を含ませ、かたく絞ってから汚れなどを拭き取る
- 2 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水やぬるま湯にやわらかい布などを浸し、固くしぼってから拭く。仕上げに水に浸したやわらかい布を固く絞り、洗剤分を十分に拭き取る

水洗いできる部品

【ガラスポット】、【豆タンクふた】、【ウォータータンク】、【ウォータータンクふた】、【フィルターホルダー】は、全て水洗いできます。台所用中性洗剤を薄めた水やぬるま湯で、付属の【クリーニングブラシ】や、柔らかいスポンジなどを使用し、洗ってください。水洗いした後は水でよくすすぎ、乾いた布で水気を拭き取り十分に乾燥させてください。

【本体】内部の水アカの洗浄方法(クエン酸洗浄)

月に1回程度、【本体】内部を掃除することをおすすめします。特にミネラルウォーターや硬水を使用されている場合は、より頻繁に水アカを除去する必要があります。

- 1 約300mlの水に約15gのクエン酸を入れて完全に溶かしクエン酸水を作る
- 2 【ウォータータンク】にクエン酸水を入れて【本体】にセットする
- 3 【フィルターホルダー】(ペーパーフィルターは入れない)、【ガラスポット】を【本体】にセットする
※内部の洗浄にはクエン酸水のみを使います。コーヒー豆、コーヒー粉は入れないでください。
- 4 電源ボタンを押してオン(起動状態)にする
豆・粉選択ボタンを押して「粉モード・保温無し」を選びます。
- 5 スタートボタンを押しくエン酸水だけでドリップ(抽出)工程を行う
- 6 【ガラスポット】に溜まったお湯(クエン酸水)を捨てる
- 7 クエン酸水での洗浄後、【ウォータータンク】の4カップの目盛まで水を入れて【本体】にセットし、手順3～6を1～2回繰り返す
※必ず、【本体】が冷めるまで間隔をあけて作業を行ってください。

【ミル】内部【ゲート】付近のお手入れ「clean モード」

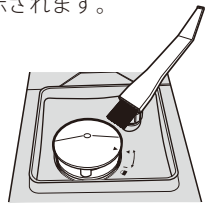
使用とともに、【ミル】内部・【ゲート付近】の粉出し口にコーヒー粉が詰まる場合があります。必ず定期的にお手入れしてください。約30回ミルを使用したら、抽出後又は保温完了後に時計表示に「CLN」が点滅で表示されます。「clean モード」を使用してお手入れをしてください。

※「CLN」表示は「clean モード」を使用するまで、抽出完了後又は保温完了後の度に点滅で表示されます。

1 【ガラスポット】、【フィルターホルダー】を【本体】から取り外す

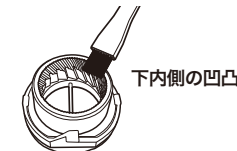
2 【豆タンク】、【ミル】の周りに残っているコーヒー豆を取り除く

※コーヒー豆は、取り除ける範囲で、手や【クリーニングブラシ】で取り除いてください。

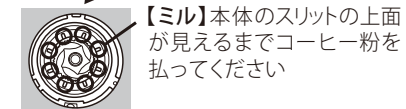
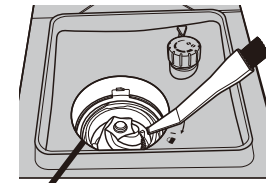


【ミル】内部や【ゲート付近】に付着しているコーヒー粉を【クリーニングブラシ】で取り除いてください。

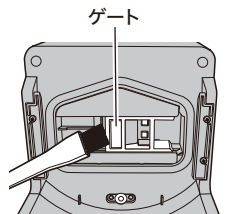
〈ミルパーツの下〉



〈ミル本体周り〉



〈ゲート付近〉



ゲート

※【ゲート】はコーヒー粉を出す時および、お湯を出す時に左右に可動するため、粉が溜まる場合があります。

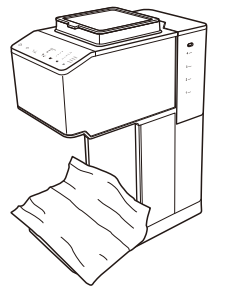
⚠ 注意

コーヒー豆が【ミル】内に残っているときに【ミルふた】を取り外さないでください。【ミルふた】の吻合部にコーヒー豆が入り込み【ミルふた】がきちんと装着出来なくなる場合があります。

3 【電源プラグ】を電源コンセントに差し込む

4 【保温プレート】の上にペーパータオルやティッシュなどを敷く

【本体】内部から詰まったコーヒー粉が出てくることがあります。



5 電源オフ(待機状態)で、スタートボタンを3秒長押しする

「clean」ランプが点滅し、「clean モード」になります。自動で【ゲート】を移動し、【粉出し口】側が開いた後、【ミル】が回転してコーヒー粉を排出します。

※【ゲート】が動くまで約20秒掛かり、その後【ミル】が回転します。

※【ゲート】が移動すると、「時計表示」部に「OPEN」と表示されます。

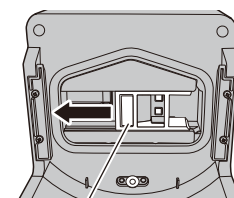


3秒長押し

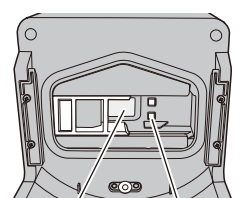
【ゲート】について

ゲートは、【粉出し口】(ミル側)と【ドリップ口】(お湯出し側)に移動します。これは、ドリップ時の湯気が【ミル】内部に入らないようにするためです。
普段は【ドリップ口】側が開いており、コーヒー豆を挽くときや「clean モード」のときは【ゲート】が移動し、【粉出し口】が開きます。

〈下から見た図〉



ゲート



粉出し口

ドリップ口

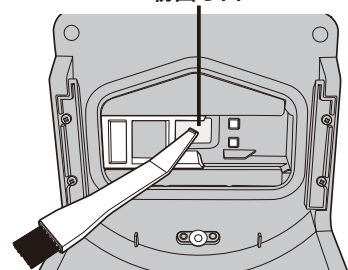
6 【クリーニングブラシ】で【ゲート】付近、【本体】内部や、【ミルパーツ】の下に残っている粉を取り除く

※【ゲート】と【ゲート】付近の本体の隙間なども【クリーニングブラシ】を使用して掃除してください。【粉出し口】付近に付着しているコーヒー粉を【クリーニングブラシ】で取り除いてください。

粉出し口へクリーニングブラシを入れ、コーヒー粉をかき出してください。
上からクリーニングブラシの先端が見えるまで奥まで入れて粉を払ってください。

<下から見たところ>

粉出し口



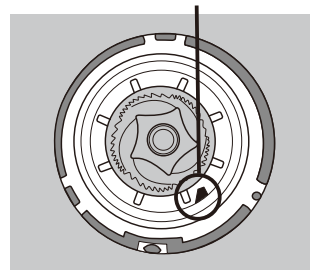
湯気などで粉出し口にコーヒー粉が固まっていることがあります

<横から見たところ>



<上から見たところ>

クリーニングブラシの先端



クリーニングブラシを粉出し口から差し込み、上から見た時にクリーニングブラシの先端が見えるのがお手入れ完了の目安です。

定期的にお手入れを行わなかったとき、E1(エラー)が表示されることがあります。
p.14～15に従ってお手入れしてください。

7 お手入れが終わったら、電源ボタンを3秒長押しする

「clean モード」を終了します。【ゲート】が元に戻り、【粉出し口】が閉じます。【ゲート】の移動が終わると、電源がオン(起動状態)になり、コーヒーをいれられる状態になります。

【ミルふた】、【ミルパーツ】の取り外し・取り付け

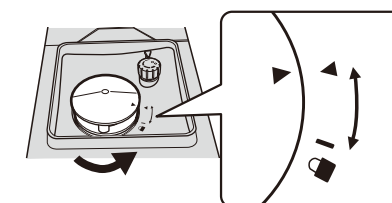
【ミル】内部【ゲート】付近のお手入れ「clean モード」(P.14)のお手入れの後、【ミル】内部にコーヒー豆や粉が溜まっていない状態で行ってください。

⚠ 注意

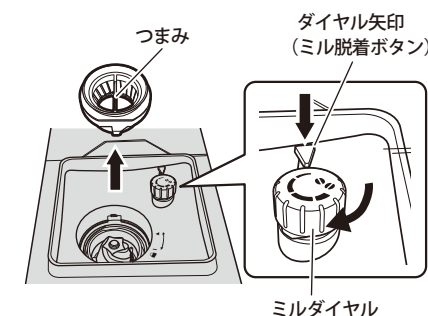
必ず「clean モード」を行い、【豆タンク】にコーヒー豆が入っていない状態で取り外してください。

●取り外しかた

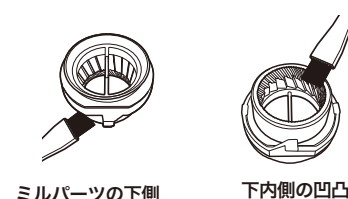
- 1 反時計回りに【ミルふた】を回して取り外す
【ミルふた】の▲印と【本体】の▼印を合わせます。



- 2 【ダイヤル矢印(ミル着脱ボタン)】を押しながら、【ミルダイヤル】を時計回りに目盛を越えて止まるまで回す



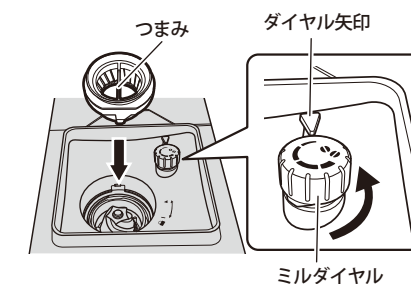
- 3 【ミルパーツ】のつまみを持って【ミルパーツ】を取り外す



- 4 【クリーニングブラシ】で【ミル本体】や【ミルパーツ】に付着している粉を取り除く

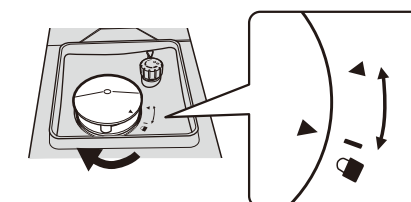
●取り付けかた

- 1 【ミルパーツ】のつまみを【本体】に対し垂直にし、【ミル本体】の上にのせる



- 2 【ミルダイヤル】を反時計回りに「カチッ」とはまるまで回し、【ダイヤル矢印】が【ミルダイヤル】の目盛内に向くまで回す

- 3 【ミルふた】の▼印と【本体】の▲印を合わせ、時計回りに■印まで回し、【ミルふた】を取り付ける



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

こんなとき		原因	対処法
電源ボタンを押してもランプが点灯しない。		【電源プラグ】が電源コンセントに差し込まれていない。	【電源プラグ】を正しい電圧の電源コンセントに確実に差し込む。
【操作パネル】の各表示が点灯しない。			
「時計表示」にエラーが表示された。	E1、E2	内部センサーに不具合がある。	【電源プラグ】を抜き、電源コンセントに差し直す。
		ミル部やゲート部、コーヒー粉出し口にコーヒーが詰まったり、固まっている	ミル内部やゲート付近、粉出し口ののコーヒー粉を【クリーニングブラシ】などで取り除く。
	E3	【ミルふた】の装着がゆるい、正しくセットされていない。	【ミルふた】を「カチッ」とはまるまで回し、正しくセットする。 コーヒー豆が詰まって【ミルふた】がセットできない場合は、【クリーニングブラシ】などでコーヒー豆を取り除いてからセットする。
	E4、E5	ヒーター部の異常	【電源プラグ】を抜き、電源コンセントに差し直す。
	E6	モーター部の異常	【ミル】内部に異物がないか確認する。 30分以上モーターを休ませ（冷まし）てから【電源プラグ】を電源コンセントに差し直す。
	CLN	ミルを約30回使用した。	p.14、15に沿ってお手入れする。
コーヒー豆が挽けない。		設定が「粉モード」になっている。	豆・粉選択ボタンで「豆モード」を選択する。
		コーヒー豆が極端に浅煎りだったり、豆が大きい。	【ミルダイヤル】を極粗挽きに調節する。
		コーヒー豆の油分で、豆が【ミル】内部に入らず【豆タンク】内に残っている。	【豆タンク】内の油分を拭き取る。
		【豆タンク】に入っているコーヒー豆が少ない	【豆タンク】に 2/3 以上コーヒー豆を入れる。
お湯が出ない。		【ウォータータンク】に水が入っていない、正しくセットされていない。	【ウォータータンク】にカップ数分の水を入れ、【本体】に正しくセットする。
コーヒーの味が異常に薄い、濃い。		コーヒー豆、粉と水の量が多い、少ない。	【ミルダイヤル】で豆の挽き目（粒度）を調節する。 豆量ボタンで挽く量を調節する。水の量を調節する。
コーヒーが保温されない。		豆・粉選択ボタンで「豆モード・保温無し」、または「粉モード・保温無し」の設定になっている。	豆・粉選択ボタンを押して、「豆モード・保温無有り」、または「豆モード・保温有り」を選ぶ。
【保温プレート】から焦げたにおいがする。		【保温プレート】にコーヒーがこぼれ蒸発し、焦げが残っている。異物が付着している。	【保温プレート】、【ガラスポット】に付いている焦げや異物を取り除く。
確認後、なお異常があるとき。		カスタマーセンターまでご相談ください。 無料修理規定と保証書をご参照ください。（裏表紙）	

⚠ 警告 改造はしない。また、分解したり修理をしない。

仕様

品名	コーン式全自動コーヒーメーカー
品番	RCD-1
種類	ドリップ式（水容器着脱型）
保温装置の有無	有
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	コーヒーメーカー／730W ミル／100W
定格時間（ミル）	20秒
商品サイズ	約幅15.0(W)×奥行 30.0(D)×高さ 34.5(H)cm
重量	約3.4kg
豆タンク容量	約60g（深煎り豆時）
最大使用水量	約560ml
主な素材	本体／ABS樹脂、ステンレス ガラスポット／ポリプロピレン、ガラス
コード長	約1m
付属品	クリーニングブラシ
生産国	中国

※仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター **TEL.03-6662-7100**

受付時間 10時～12時／13時～16時（土日祝日を除く）

〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

カスタマーセンター
<https://recolte-jp.com/support/>



部品・消耗品のご購入

レコルト公式オンラインショップ・カスタマーセンター、
または製品をお買い上げいただきました販売店に
お問い合わせください。

カスタマーセンター
<https://recolte-jp.com/support/>



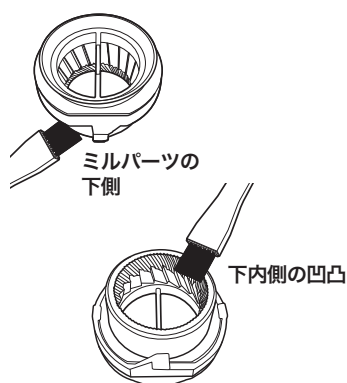
知っておいていただきたいこと

使用とともに、ミル内部・ゲート付近の粉出し口にコーヒー粉が詰まる場合があります。ミルを約30回使用したらp.14、15を参照して、お手入れしてください。特にミル本体周り、ゲート付近の隙間・粉出し口にコーヒーの粉が溜まりやすい為、注意してください。

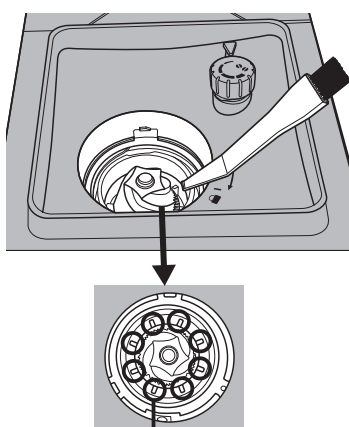
① ミル内部やゲート付近に付着しているコーヒー粉をクリーニングブラシで取り除いてください。

※ミルふた、ミルパーツの取り外し方は、取扱説明書 p.16をご参照ください。

〈ミルパーツの下〉

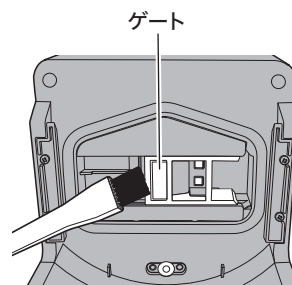


〈ミル本体周り〉



ミル本体のスリットの上面が見えるまで
コーヒー粉を払ってください

〈ゲート付近〉

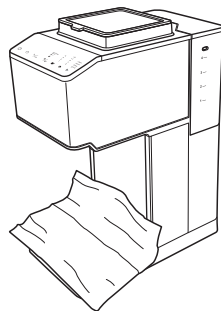


〈下から見たところ〉

※ゲートはコーヒー粉を出す時
および、お湯を出す時に左右
に可動するため、粉が溜まる
場合があります。

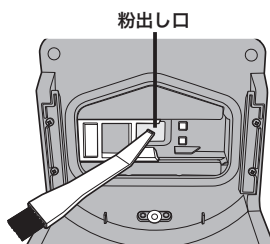
② p.14、15のcleanモードを使用して、粉出し口付近に付着しているコーヒー粉をクリーニングブラシで取り除いてください。

※保温プレートの上にペーパー
タオルやティッシュなどを敷く
cleanモードで本体内部から出て
くるコーヒー粉を受けるためです。



粉出し口へクリーニングブラシを入れ、コーヒー粉をかき出してください。
上からクリーニングブラシの先端が見えるまで奥まで入れて粉を払ってください。

〈下から見たところ〉



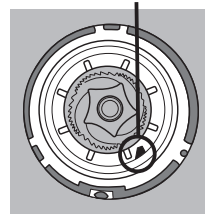
湯気などで粉出し口にコーヒー粉が
固まっていることがあります

〈横から見たところ〉



〈上から見たところ〉

クリーニングブラシの先端



クリーニングブラシを
粉出し口から差し込み、
上から見た時にクリー
ニングブラシの先端が
見えるのがお手入れ完了
の目安です。

お手入れが行われないと、E1(エラー)が表示されることがあります。
E1が表示された場合、上記並びにp.14、15に沿ってお手入れしてください。